

館の運営方針	佐倉市立公民館活動計画を基本として、常に地域の実態をとらえながら、使いやすく、親しみのある教育施設として住民の自主的交流・集会・学習などの活動を助成し、地域社会教育活動の中心としてその役割をはたすことに努める。
ジャンルの目標	地域の素材、人材を十分に活用して、地域の歴史、文化、生活、自然等を学びながら地域が持つ魅力に目を向け、人と人との交流を大切に、心豊かに健康で安心して暮らせるコミュニティ形成に寄与することを目標とします。

★個別事業評価一覧

No.	事業名	事業の内容
①	和田剣道教室	和田小学校児童等を対象に剣道を通して心身の健全育成を図り、生活上必要な習慣を身に付けさせる。指導者・保護者等と協力して共に育て合う場となるよう努めている。
②	軽スポーツ大会	軽スポーツを通じて、異世代と交流する事で健全な青少年の育成を図る。
③	夏休みおもしろ体験教室	保護者や地域の人たちの協力を得ながら、子ども達に共同生活体験の場を提供し、子ども達の自主性・協調性・社会性を高める。
④	佐倉っ子塾 料理教室	和田地区青少年育成会議と共催し、地域の食材を活かした料理教室を実施し、子どもの自立と育成を図る。
⑤	佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	和田のはたおりの手芸、凧作りなど伝統文化の体験学習を通じて創造力を育む。

★ジャンル総合評価

個別事業における、ねらい・運営方法・学習テーマ・対象者・講師・資料・広報等、事業全般			
企画	企画段階での課題と解決策	A	A:各個別事業の想定課題は正しかった。 B:各個別事業の想定課題はまあ正しかった。 C:個別事業の想定課題が違っていたところがある。 i:途中で変更した。 ii:そのまま進めた。
実施	実施しての課題と解決策	B	A:各個別事業の想定課題の解決は進んだ。 B:各個別事業の想定課題は解決はまあ進んだ。 C:各個別事業の想定課題とは別の課題が出た。 i:別の方向に進めた。 ii:そのまま進めた。
点検	点検しての課題と展望策	夏休みおもしろ体験教室は、学社連携を意識した事業を行いました。本格的な連携はこれからの課題となっています。伝統文化体験教室について、地域には豊かな自然や文化など、多くの素材を有しているため、これらを積極的に活用して学習効果を高める必要があります。	
改善	次年度への課題と展望策	B	A:事業拡大。 B:現状規模での継続。 C:事業縮小。 D:目的達成により終了。 E:統合・改善・その他 ()

総合評価				
A	事業規模 A:適切で成果が得られている。 B:課題あり、成果が得られている。 C:課題あり、成果があまりない。 D:成果が得られていない。 E:現段階では判断できない。			
	<table border="1"> <tr> <th>成果</th> <td>剣道教室、軽スポーツ大会、料理教室は、保護者や青少年育成住民会議などの地域団体と密に連携しながら、長年継続して実施している事業で、地域で子ども達の健やかな成長を見守り育てる場となっています。伝統文化体験の中で、長命大学の受講生が子ども達に手編みを教えるカリキュラムがあつて、生きがいつくりと異世代間の交流を深めることが出来ました。また、おもしろ体験教室では、新たに学校の授業等で行われている種目を取り上げるにより、教育的効果を高めることを目指しました。</td> </tr> <tr> <th>課題</th> <td>少子化、過疎化が進んでいる地域の実情を踏まえて、いかに子ども達にとって有意義で、魅力ある事業としていか、地域住民の意見を取り入れる中で、さらに検討していく必要があります。学校との連携は、今後とも継続・強化していく必要があります。</td> </tr> </table>	成果	剣道教室、軽スポーツ大会、料理教室は、保護者や青少年育成住民会議などの地域団体と密に連携しながら、長年継続して実施している事業で、地域で子ども達の健やかな成長を見守り育てる場となっています。伝統文化体験の中で、長命大学の受講生が子ども達に手編みを教えるカリキュラムがあつて、生きがいつくりと異世代間の交流を深めることが出来ました。また、おもしろ体験教室では、新たに学校の授業等で行われている種目を取り上げるにより、教育的効果を高めることを目指しました。	課題
成果	剣道教室、軽スポーツ大会、料理教室は、保護者や青少年育成住民会議などの地域団体と密に連携しながら、長年継続して実施している事業で、地域で子ども達の健やかな成長を見守り育てる場となっています。伝統文化体験の中で、長命大学の受講生が子ども達に手編みを教えるカリキュラムがあつて、生きがいつくりと異世代間の交流を深めることが出来ました。また、おもしろ体験教室では、新たに学校の授業等で行われている種目を取り上げるにより、教育的効果を高めることを目指しました。			
課題	少子化、過疎化が進んでいる地域の実情を踏まえて、いかに子ども達にとって有意義で、魅力ある事業としていか、地域住民の意見を取り入れる中で、さらに検討していく必要があります。学校との連携は、今後とも継続・強化していく必要があります。			

ジャンル	青少年教育
事例発表の事業	夏休みおもしろ体験教室

☆公民館運営審議委員意見

総合評価	委員①	<p>★ジャンルについて 地域の子どもにとって、公民館が大切な中心になっていることが感じられる事業と思います。</p> <p>★事例発表の事業について 地区の子ども達にとっては、欠かせない事業と思いました。楽しみにしている子ども達もおおいことと思います。</p>
	A	

総合評価	委員②	<p>★ジャンルについて 社会性をはぐくむ上で、地域的に必要な事業。</p> <p>★事例発表の事業について 学社連携でカリキュラムも豊富でよい。 夏休みという時期もよい。</p>
	A	

総合評価	委員③	<p>★ジャンルについて 職員数が少ない中、スポーツ・文化と講座を実施していただきありがとうございます。「和田小学校の誕生とその歩み」記録集は、とてもよいと思います。</p> <p>★事例発表の事業について 夏休みおもしろ体験教室は、一輪車・食づくり・和太鼓と興味関心が高い講座でよかったと思います。地域人材の活用もよかったと思います。</p>
	A	

総合評価	委員④	<p>★ジャンルについて 地域の特性をいかして頑張ってください。</p> <p>★事例発表の事業について 太鼓の活動など、とても良い内容だと感じます。</p>
	A	

総合評価	委員⑤	<p>★ジャンルについて 体験型の事業が多く興味をひきやすい。</p> <p>★事例発表の事業について 地域の方が加わる事で地域一体型となり良いと思う。募集数より参加者が少なかったのは残念であったが、周知方法を工夫することで解消されると思う。保護者を巻き込めれば世代間の交流にも繋がる。</p>
	A	

総合評価	委員⑥	<p>★ジャンルについて 目標に掲げた「地域人材、地域団体との連携により、歴史・文化・スポーツ等に親しみながら人間性・社会性を育む」という大きなテーマを、和田地区全体で取り組んでいることが伝わってきます。地域活動や公民館活動に当たっては、和田ふるさと館歴史民俗資料室の存在も大きな効果となっているように感じます。</p> <p>弥富地区同様、超高齢「地域」社会＝「超」少子化社会である地域です。新1年生が4人となるなど、学校教育も大きな課題を抱えていると思います。このような中で、住民会義や地区社協を始めとした地域団体との連携、学校との連携により様々な公民館事業が組み上げられていることは、地域のつながりを強く感じさせてくれるものです。学校連携が不十分との自己評価がありましたが、教育現場に置かれている様々な課題を考えると、課題はあるにせよしっかりとした連携が図られているような感もあります。そして何よりも、強弱はあるにしても公民館が地域活動を行う各団体等と意識して連携した取り組みを行っていることが評価されるべきであると思います。</p> <p>今後さらに人口減少は進んでいくものと思います。市内就業の場の減少や勤務先での転勤、農業にも展望が持たなくなってくれば、この動きは止まらないと思います。定住促進といっても、成果は必ずしも期待できるものでもありません。職業選択の自由に反するのかも知れませんが、かつ、公民館の活動趣旨とは合わないのかも知れませんが、「農」「農業」についての「本格的な」取り組みにも期待したいと思います。</p> <p>★事例発表の事業について 学社連携の成果であると思います。公民館はプログラムの充実が図られ、小学校教育の場では得難い異年齢交流も図れるなど、これからは学社連携の取り組みが進んでいくことが、地域の少子化の状況を考え合わせると、ますます重要となってくると思います。和田公民館は小学校と極めて近い場所にあることから、社会教育学校としても機能し、公民館職員と生徒の「交流」も見られますが、長年にわたる様々な事業の積み重ねの成果でもあると思います。</p> <p>この興味深い体験教室が、一日で終わってしまうことがとても残念でなりません。日常的なプログラムとして定着させていくことは難しいのでしょうか。地域活性化として、「一輪車ロードレースがある地域づくり」を目指して、地域間交流を図れるような展望を持って（それが良いのかどうかはわかりませんが）事業継続を図ることや、佐倉時代まつりに太鼓演奏で参加する、下勝田や八木地区の伝統行事である獅子舞を守る活動に参加するなど、具体的な「別の目標設定」があっても良いのではないのでしょうか。</p> <p>機織りなど、公民館事業から生まれた活動がありますが、このような事業の中から、新しい地区活性化の取り組みが誕生して欲しい、誕生するのではないかと、思わず考えてしまいます。是非、夏休みの一日の体験に終わらずに、「おもしろ体験教室」として展開して欲しいと願わずにはいられません。担当者は大変だとは思いますが、いろいろな種がまかれた取り組みであったと思います。</p>
	A	

委員⑦		<p>★ジャンルについて 地域内にある他の団体や人材を活用しての事業で、異世代・異年齢交流、青少年育成事業として地域に根差した事業となっているようで今後も、保護者・学校・関係地域住民とも協力し合い更なる継続を期待します。</p> <p>★事例発表の事業について 対象学年が3～6年生で低学年は3年生になったら参加できると楽しみにしている事業だと思います。学校でもなく、家でもなく、1日ではあるが友達や上・下級生と共同生活を体験することだけでも魅力があるのではないのでしょうか。新たな事への挑戦ができ、一部デイキャンプ的な内容でも“おもしろ体験教室”として魅力を感じてくれるのではないのでしょうか。</p>
総合評価	A	

委員⑧		<p>★ジャンルについて 地域人材を積極的に活用しながら子ども達に歴史、文化、スポーツ等に親しむ機会を設けると共に、人とのふれあいを大切に、子ども達の人間性や社会性を育むことを目的とした事業の展開をされている。剣道教室、軽スポーツ大会、料理教室は、長年の実績から地域の子供達に成果を発揮している。伝統文化体験教室については、地域の豊かな自然や文化等を生かした学習効果に今後も期待します。</p> <p>★事例発表の事業について 如何に子ども達の自主性・協調性・社会性を育む場として小学3年生～6年生を対象に夏休みの時期に開催された。子ども達が楽しく活動しつつ、異年齢同士が協力し助け合い、関わり合いながら相手を思い合う効果を得られたことは今後の事業の展開に参考になったと思います。</p>
総合評価	A	

委員⑨		<p>★ジャンルについて 保護者や地域の方々に協力を得て行う事業には、大きな意味がある。 コミュニティを育てるためには地域の文化や歴史を軸としたこうした事業の継続が必要であり、特に「学社連携」に対しては大いに期待する。</p> <p>★事例発表の事業について 「学社連携」は、子ども達の興味、関心、意欲の向上をもたらす青少年教育にはとても意義のあることだと考える。平成28年度の特別展を振り返ってもそうだが、和田にはこの地域ならではの歩みという財産がある。今後もその事を生かして欲しいと考える。</p>
総合評価	A	

委員⑩		<p>★ジャンルについて 小学生対象の青少年教育事業として、有意義な多くの事業を実施されている。今後も事業内容の充実を図りながら継続して下さい。</p> <p>★事例発表の事業について 「夏休みのおもしろ体験教室」は、講師に地域の人たちの協力を得、地域児童との触れ合いを深めながら実施されている事業であり、地域児童の健全な活動事業となっている。児童数の減少が残念ですが続けて行ってほしいと思います。</p>
総合評価	A	

委員⑪		<p>★ジャンルについて 過疎化が進む地域の実情を思うとき、剣道教室、スポーツ大会、おもしろ体験教室、料理教室、伝統文化体験教室と、保護者や地域の人たちの協力を得ながら、公民館と小学校の連携がうまく出来ている公民館の青少年教育は立派だと思ふ。</p> <p>★事例発表の事業について 夏休みおもしろ体験教室は、一輪車教室・食事作り・和太鼓と子ども達に共同体験の場を提供し、自主性・協調性・社会性を高めるためにも青少年の健全育成を図れる大変素晴らしい企画事業だと思う。</p>
総合評価	A	

委員⑫		<p>★ジャンルについて 夏休み学校で出来ないこと、地域が伝えてきたものを・・・と継続実施されているのは素晴らしい、是非続けていって戴きたい。 青少年と言っても小学生に限られる枠を広げられる工夫はないか。</p> <p>★事例発表の事業について 和太鼓活動に発表の舞台があったのはとてもよかった。継続して「和太鼓」まで行けたら素晴らしい。 「一輪車の苦手な子は参加しなかった?」という予想もあったが、活動ぶりがよかったので、継続できればロコミで広がったり、苦手な人を誘ったりできるようになると思う。</p>
総合評価	A	

委員⑬		<p>★ジャンルについて 14人の団体が朝から夕方迄体を動かすのは大変良い。 公園で体を動かさず、ゲーム器などで夢中になっているのは不満です。 和太鼓に励むのは音感教育に大変よいと思えます。</p> <p>★事例発表の事業について 異年齢同志が取り組むのは、相手を思いやるのでよい。新しい事は知の挑戦であり、ひるまずぶつかってほしい。(子ども達が)自主性・協調性も生まれ、日本の伝統芸能を色々と継承してほしい。</p>
総合評価	A	

委員⑭		<p>★ジャンルについて 学校教育の延長ではなく、学校教育では実現できないことに主眼をおく。他の地区と積極的にタイアップして交流を図り、参加人数の増加を企図する。</p> <p>★事例発表の事業について 野球やサッカーのスポーツ、野外活動、音楽や演劇などの文化活動など、子ども達に関心のある活動を通じ、他の地区ともタイアップして交流を図る。</p>
総合評価	A	

委員⑮		<p>★ジャンルについて 伝統文化を継承していくためには必要不可欠なものである。 特に地域団体と長期的に取り組んでいるのは、関係者の努力のたまものであり青少年育成は長く取組んで行くジャンルである。</p> <p>★事例発表の事業について 地域住民が講師となり地域密着の取組は素晴らしい。カリキュラムに相違工夫がうかがえ、会場の雰囲気が伝わった。</p>
総合評価	A	